

(1) 社会主義学生同盟(全国執行委員会)機関誌『理論戦線』

●復刊1号(63年4月×日).....

①発刊の辞

○価値のない『経済学』を粉碎、常時恐慌の資本主義をみきわめよ 杉村宗一

○日本資本主義の現状分析 水沢史郎

●復刊第2号(63年8月30日).....

①共産主義革命闘争の基本問題の定期 渚 雪彦

②中ソ論争に対する我々の見解 中ソ論争の誤謬と限界 宇利矢 及武

③マル同派、中核派のS君への手紙 秋本道夫

●復刊第3号(64年9月×日).....

①現情勢と我々の任務 社会主義学生同盟書記局

②日本共産党批判(一) 戦後日本共産党の闘いとは何か 高樹 敏

③疎外—同盟はいかに疎外観を位置づけるか 斧 誠

●復刊第4号(65年5月×日)社学同東京都委員会・「争鳴」「理論戦線」合併号).....

①「反帝反スタ」路線の「没階級性」と「反動性」をあげき出し、ベトナム闘争を階級的に打ち固めよ!

—革共同中核派五全総政治報告批判— 逆川 純

②毛沢東路線の形成とその限界 真崎秀夫(石井膜禎)

③第六回統一大会報告決定

○安保全学連の崩壊と現在に至る学生運動の総括 花島雄三

○再編に向かう世界帝国主義

○日韓—原潜—南ヴェトナム闘争を断固として闘い、日帝の「転換政策」と対決せよ

(2) 社会主義学生同盟 (独立社学同) 機関誌『争鳴』

●.....不明

(2)社会主義学生同盟(全国委員会)・機関誌『理論戦線』

●第6号(復刊1号)(68年7月10日).....

- ①帝国主義の世界分割＝侵略・反革命に対決し、プロレタリア国際主義の
革命的第三潮流を建設せよ—全学連大会・国際反戦集会に向けて— 社学同全国委員会
世界革命の第4の波に向けて小ブル反帝派の解体を断固として推し進めよ
- ②ドイツ革命の教訓とコミンテルンの総括 波多野 輝政
- ③中国共産党(毛・林派)批判 鈴木路彦
- ④日本共産党批判シリーズ(第一回)「敵の出方」論の誤りの数々 和光 明
- ⑤マル学同革マル批判 日向 翔
- ⑥社青同解放派批判 社学同早大支部
- ⑦同盟の政治理論の総括 政治過程論 階級形成論 国独資論 山代寛一

●第7号(68年10月31日)〈SSL全国委理論合宿報告集〉.....

- ①緊急アピール、チェコ問題によせて SSL全国委
- ②第1報告 戦略論その1 坂 健一
- I 日帝のアジア派兵と対決し、世界革命戦争を闘い抜け
II 世界プロレタリア統一戦線・世界赤軍・世界党建設の第一歩を 戦旗8・5論文
- ③第2報告 戦略論その2 和光 明
- I 日本共産党批判(2)
II マル学同中核派批判 油井泰雄
- ④第3報告 運動・組織論 日向 翔
- I 社学同の運動・組織論的位置とその任務
II 八・三国際反戦会議の運動・組織論的総括
- ⑤第4報告 教育学園闘争論 鈴木路彦
- I 中大学費闘争に対して我々は何を主張したか
II (総括)全人民的政治闘争と中大学費闘争
III MD大闘争の中間総括 村田恒有

●第8号(69年3月25日).....

- ①第1報告〈戦略論〉 日向 翔
- I 革命方法論上の主体的立場の解明 坂 健一
- II 10・21闘争総括の深化のために(A) 奥田浩二
- 10・21闘争総括の深化のために(B) 渡辺数馬
- III 社青同解放派的世界の破産 米山恵三
- IV 沖縄闘争の革命的勝利をめざして
- ②第2報告〈運動・組織論その1〉 山代寛一
- I 全学連のコンミュン型組織への改編に関して SSL全国委
- II 1・18、19東大—神田カルテラタンの総括 丸木 行
- III 教育学園闘争論

補 革命的高中生運動論の構築に向けて

SSL高校生委員会

③第3報告〈運動・組織論その2 個別闘争の総括〉

I 中大闘争の革命的前進のために

姫村 圭

II 日大闘争の総括

阿部 仁

④社学同全国委員会学習会指定文献

●第9号(70年6月15日)社学同1970年度全国合宿報告集……………

①緊急アピール 反帝戦線結成に向けて

BUND政治局

②第1報告〈戦略論〉

I 革命論構築に向けて

日向 翔

II 沖縄闘争の革命的展開へ

野田 晋

III 現代無政府主義＝赤軍派批判

BUND戦旗論文

③第2報告〈運動・組織論〉

I 社学同の組織総括と飛躍の課題

社学同全国委

II 全共闘運動の更なる再編強化をめざして

米山恵三

III 東大統一公判闘争の強化に向けて

弾圧対策委員会

④特別寄稿 過渡期世界の革命・1969年の教訓

久保井 拓三

補足●第10号(70年11月30日・共産主義青年同盟全国委員会) 日本反帝戦線結成報告……………

①第1報告〈共産主義論〉

I 軍事を孕み共産主義を組織する鉄の革命党建設に向けて

日向 翔

II 「共産主義論」論叢の止揚のために、田原芳の破産の根拠

向田 新

III 叛旗派の政治的解体にむけて

和光 明

(補)第2次ブントの自己の係わりの総括と第3次ブントへの道

鴨井 衆

補「過渡期世界の革命党」への理論的諸前提

野田 晋

②第2報告〈戦略論〉

I 現代帝国主義論への基礎視座

藤田雪絵

II 現代ソ連論序説

青木 達

III 恒武闘争論の深化と叛軍闘争

一色 学

IV 日帝の軍事外交の新たな展開に対決する叛軍・入管闘争の任務

中村 進

③第3報告〈運動・組織論〉

I 70年代型地区共闘論の深化のために

城山 徹

II 叛軍闘争の革命的展開の為に

北見 隆

III 第2次ブントの組織総括の深化のために

伊勢 洋

IV 社会主義学生戦線＝フロント批判

赤井文人

④第4報告〈日本反帝戦線結成大会議案書〉

I 総括

II 情勢

III 任務・方針

IV日本反帝戦線行動綱領

補足●第11号(1971年10月30日・共産主義青年同盟全国委員会).....

第1部

I 恒常的武装闘争の旗の下、4・28 正規軍戦に断固として勝利せよ！ 共産同(戦旗派)中央委員会

II AIF2回大会議案書/日本反帝戦線中央書記局

A総括

B情勢

C任務方針

第2部

I『共産党宣言』の主体的把握のために 渡海俊治

IIレーニン主義党の諸原則とは何か 赤目猫蔵

III第二次共産同の戦略上の総括 野田 晋

IV現代過渡期社会論の深化にむけて 東 一彦

V部落解放闘争の革命的前進と展開のために 村中 泰

VI第二次ブントの「階級的労働運動」の総括と革命的労働運動の構築をめざして 五木 芳

第3部

Iメンシェヴィキ=革マル派の教条的日和見主義理論のまやかし 日向 翔

II永遠の観念左翼・革労協批判 城山 徹

III宇野価値論の批判的摂取と榎原小ブル経済学批判 室伏譲二

IV「主体と変革」派の社民的本質 波島春樹

補足●『理論戦線』12号(1972年11月30日).....

(1) 日本反帝戦線三回大会議案書—総括・情勢・任務方針

(2) AIF三回大会—七・一北熊本闘争の総括

(3) 五・一三沖縄闘争裁判の勝利にむけて

(4) 部落完全解放めざし、プロ独権力を樹立せよ 左揆真史

(5) 保安処分紛争闘争の方向 水間哲郎

(6) 教育・学園闘争の革命的展開に向けて 中山礼文

補足●『理論戦線』13号(1980年6月20日戦旗・共産主義者同盟).....

(1) 革命運動のスターリン主義的歪曲を克服せよ 荒 岱介

(2) 特別寄稿—スターリン主義克服論文への批評 高原浩之

(3) ブント主義の再生をめざして—共産同革命の旗批判 村中 泰

(4) 「障害者」解放闘争の前進に向けて 椎名 光

(5) 文献目録・われわれの対立—共産主義者同盟と共産党

補足●『理論戦線』14号(1980年11月1日).....

(1) 光州民衆蜂起の革命性に学び、今こそ安保—日韓闘争の大爆発を(八・三政治集会基調報告)

(2) 三・二六戦闘精神を発展させ、武徳の思想を獲得せよ

- | | |
|---|------|
| (3) 光州蜂起の革命的意義と金大中氏救出運動の課題 | 五十木俊 |
| (4) 日米帝国主義における資源・エネルギー危機の構造 | 平野一夫 |
| (5) 「帝国主義間争闘戦」を叫び、安保―日韓闘争から召還するアダチ・グループ | 加藤令弥 |
| (6) 戦旗・共産主義者同盟規約 | |

補足●『理論戦線』15号(1981年5月1日).....

- | | |
|---|------|
| (1) 帝国主義の没落とスターリン主義の破産をみすえ人民の勝利の進撃に呼応しきる不拔の労働者党建設を！ | |
| (2) 一九三〇年代危機と帝国主義 | 広瀬 渉 |
| (3) 共産同革命の旗批判 | 野沢順一 |
| (4) 文革を清算し「近代化」の道を歩む鄧小平の中国 | 大原明生 |
| (5) 試練としての苦行 | 平野一夫 |

補足●『理論戦線』16号(1981年12月5日).....

- | | |
|--|------|
| (1) 革命の現実性つかみとり、安保―日韓体制をうち破るブントの革命的再生をかちとれ | |
| (2) 総合安保―右翼労戦統一に対決し、六・一五総決起を安保―日韓体制打倒の突破口とせよ | 山波洋二 |
| (3) 核武装に向けた日帝の原発推進を許すな！8・28巻公開ヒアリングを實力阻止せよ | 原田竜彦 |
| (4) 中国経済建設と毛―鄧路線の研究 | 剣長次郎 |
| (5) 長期世界不況とアメリカ帝国主義の危機 | 広瀬渉 |
| (6) 全文収録―5・18光州事態(市民蜂起)白書、反ファシヨ学友闘争宣言 | |
| (7) マルクス主義と主観主義、または観念的作風 | 山川英一 |
| (8) スターリン主義の内在的克服と近代主義 | 戸川勝二 |

補足●『若きポリシェヴィキ』第1号(1980年9月15日社会主義学生同盟).....

- | | |
|------------------------|------|
| (1) 社会主義学生同盟再建宣言 | |
| (2) 社学同再建集会基調報告 | |
| (3) 東外大サークル棟闘争総括 | |
| (4) 日大闘争の革命的爆発に向けて | |
| (5) 東海大闘争の前進をかちとれ | |
| (6) 『ドイツ・イデオロギー』ノート(上) | 湯沢拓史 |
| (7) 韓国学生運動闘争史 | 高杉健作 |

補足●『若きポリシェヴィキ』2号(1981年10月4日).....

- | | |
|---|--------|
| (1) 国家主義的再編と対決し、総合安保をうち破る学生のスクラムを築こう | 社学同書記局 |
| (2) 戦争に向けた反動攻勢の突撃隊、反憲学連を撃て | 小松和久 |
| (3) 『ドイツ・イデオロギー』ノート(下) | 湯沢拓史 |
| (4) マルクス主義哲学(認識論)をめぐる問題―公式マルクス主義の批判に向けて | 渋沢俊徳 |
| (5) 『帝国主義論』と現代帝国主義 | 山下和生 |
| (6) 現代ファシズム論研究序説 | 高杉健人 |

補足●『若きポリシェヴィキ』3号(1982年10月8日).....

- | | |
|--------------------|----------|
| (1) 外大闘争の革命的発展にむけて | 社学同東外大支部 |
| (2) 青学大を反戦の砦に | 社学同青学大支部 |

(3)創価学会批判ノート

谷川 昇

(4)『経・哲草稿』ノート

高杉健人

(5)日本共産党批判

渋沢俊徳

補足●『若きポリシェヴィキ』4号……………不明

補足●『若きポリシェヴィキ』5号(1990年7月×日)……………不明